

---

## 2年研究授業計画案

東二番丁小学校 2年担任 武田 直樹

---

### 1 研究教科 生活科

#### 2 生活科で目指す児童像

身の回りの人や地域との関わりや自然に興味・関心を持ち、自分のよさや可能性に気づき、自分の思いや考えなどを適切な方法で表現することができる。

#### 3 児童の実態

「春を探そう」の活動では、校庭でたくさんの植物を探していた。探究心が強く、意欲的に生活科の学習に取り組んでいる児童が多い。数を多く見つける意欲はあるが、その特徴を詳しく観察したり、観察したことから自分なりに考察をしたりできる児童とそうではない児童に二極化されている。また、朝の会でのペアトークでは、覚えた話形を使って、テーマに沿って活発に話している様子が見られている。しかし、グループでの活動になると発言権の強い児童の意見によって意思決定がなされる姿が見られる。一人一人の意見をよく聞き合って、考えを深めたり、広げたりする活動は難しい。

学区の特徴として、自然が少なく、身近に繰り返し触れ合い、四季の変化を体験を通して感じる機会も少ない。

#### 4 研究授業計画

- (1) 自分の知っている地域のことを進んで話し、また、友達の話聞いて自分の知らなかった地域のことを知り、地域について関心を深めることができる授業。
- (2) 地域の人々と関わる活動での振り返りの視点を明確にして人々の思いや願いに気付かせ、友達の考えと自分の考えと比べたり見直したりして、確かな学びにつなげる授業。

#### 5 授業技術課題

- ・学級の全員が学習の見通しとめあてを明確にもって活動することができるようにする。
- ・思考の広がりや深まりを見取ることができるように評価の工夫をする。

## ◎ 教科の目標と研究内容との関連

### (1) 指導要領より

#### ①教科の目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

#### ②2学年の内容

- ・自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。
- ・自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- ・身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようにする。
- ・身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。

今年度は、その中でも「自分と身近な人々及び地域の様々な場所とのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにすることを中心にして授業を考えていきたい。

### (2) 今年度指導するポイント

- ①気付いたことを基に考えさせるとは、一つ一つの気付きをそのままにしておくのではなく、それぞれを関連付けられた気付きへと質的に高めていく。そのために、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動を工夫する。
- ②児童が自らの気付きを振り返ったり、互いの気付きを交流したりするような活動を、必要に応じて適切に行う。
- ③新しい情報や自分だけの情報を収集し、その情報をもとに新聞やポスターにまとめたり、パンフレットにしたりして、調べたことを発信していくようにする。それにより、お互いの意見を目的意識をもって伝え合えるようにする。